記載例

（景観推進室用）

平成30年8月1日

長崎市長　田上　富久　様

【協議者】

住所　長崎市桜町2-22

氏名　長崎　太郎

都市計画法第32条に準じる協議について

今般、下記のとおり開発するにあたり、都市計画法第32条の規定に準じて、関係図書を添えて協議いたします。

記

１　開発区域　　長崎市桜町2-22

　　２　開発の目的　事務所の設置

３　添付図書

（１）位置図

（２）土地利用計画平面図、断面図等

（３）その他

以上

都市計画法第32条の規定に準じる協議書

記載例

|  |  |
| --- | --- |
| 開発区域の名称 | 　長崎市桜町2-22 |
| 協議事項 | 景観について |
| 協議項目 | 協議内容 | 協議結果 |
| 設計 | １．次の場合は、長崎市景観条例を遵守し、景観法に基づく長崎市景観計画に定める景観形成基準を遵守するとともに、必要な届出を行います。（1）一般地区・土地の面積が3,000㎡以上のもの・法面の高さが5ｍを超えるもの（2）景観形成重点地区・土地の面積が1,000㎡以上のもの・行為に伴い生じる法面又は擁壁の高さが1.5ｍを超えるもの２．屋外広告物を掲出する場合は、長崎市屋外広告物条例を遵守し、事前協議を行います。３．建築行為を行う場合は、長崎市景観条例を遵守し、景観法に基づく長崎市景観計画で定める必要な届出を行います。 | 記入不要 |
| 協議年月日年　　月　　日記入不要 | 申請者の住所及び氏名 | 長崎市桜町2-22長崎　太郎　　 |
| 協議者又は管理予定者名 | 記入不要 |
| 協議担当者の住所、所属及び氏名 | 記入不要 |